



8面

決議
意見書提出
採択した請願・陳情
荒川村との交流事業を実施
会派の異動について
議案の審議結果

7面・6面

委員会活動
・議会運営委員会
・常任委員会
・特別委員会

5面・4面

区長の施政方針説明
予算審査の概要
・主な総括質疑
・主な締めくくり総括質疑
・予算の審査経過
予算に対する各会派の討論

3面・2面

区政のこころをきく
一般質問要旨
初日
鈴木 堅之 議員(自民党)
戸田 光昭 議員(公明党)
小坂 眞三 議員(尚志会)
横山 幸次 議員(共産党)
2日目
瀬野 喜代 議員
(新星クラブ)
浅川 喜文 議員(自民党)
安部キヨ子 議員(共産党)

掲載記事のご案内

区政の「目玉」をみる

一般質問要旨

教育改革と福祉サービスの充実について



鈴木 堅之 (自民党)

問 教育改革の実現について、学校教育において、子どもたちに家族や地域社会へのつながりがあることを学ばせる必要があると思うが、見解を伺う。

答 郷土や国の文化・伝統に理解と愛情を持つことが、日本人としての自覚や誇りを育み、自他を尊重する態度につながると認識している。道徳の授業や総合的な学習の時間等で家族・郷土・国を愛する学習をはじめ、地域への誇りや多くの人々との関わりについて考える学習を充実させていく。

問 母国語としての日本語教育を質的にも量的にも充実させていく必要があると思うが、見解を伺う。

答 日本語教育の充実には、家庭や地域の取り組みが大切であるが、特に学校教育の役割が大きいと認識している。子どもたち

が日本語の美しい表現や響きに触れ、正しい言葉遣いを身に付けられるよう取り組んでいく。

問 少年犯罪の増加など日本社会の変質は、家庭・地域の教育力が低下し、子どもたちに感謝や礼節、思いやりの心を教育してこなかったところに最大の原因がある。区は、3つの行動プランの意義、重要性を再認識し、区民を巻き込んだ大運動に発展させるべきであると考え、見解を伺う。

答 区民推進委員会により、豊かな心・コンクルの発行や豊かな心・コンクルの実施等の普及啓発活動が行われている。並行して、地域や団体等が様々な形で運動の推進に取り組んでいる。区は今後もこの運動が区内全域に浸透するよう啓発ポスターの掲出等、積極的な普及啓発活動に努める。

問 今後の介護保険財政の見直し及び区としての地域特性に応じた抑制策と独自のサービスをどう考えるのか見解を伺う。

答 現在の伸びが持続は介護給付費の増加が予想される。サービスが必要な高齢者の残存能力の低下を招くような不適切なサービス提供を抑制し、一人ひとりに合ったケアプランの作成等、給付の適正化に向け事業者を指導していく。

問 都府県活用による地域福祉インフラ整備事業を含め、痴呆性高齢者グループホームの整備促進について伺う。また、都の事業には区内事業者を選定すべきと考え、見解を伺う。

答 事業者は東京都により選定されるが、事前の区の審査では、公平を期すとともに、「地域で安心して住める住居」という趣旨から、荒川区の地域特性を踏まえた審査を行う。今後は東京都の「痴呆性高齢者グループホーム緊急整備三方年事業」も活用しながら、その整備・支援に取り組む。

問 学校の立地や地域の実情を踏まえた実効性のある安全対策の形成が重要である。安全管理体制を総点検し、施設整備の整備、防犯マニュアルの作成を行うべきと考え、見解を伺う。

答 「危機管理マニュアル」を各学校ごとに整備している。設備面では小学校3校で校内電話の設置を行い、未整備校についても早期に取り組み予定である。

問 学校や通学路の安全確保のため、ボランティアやシルバークンメンなどによる人的配置を行うべきか。

答 子ども達の生活時間帯全般で地域の安全性を高める必要があるとの観点から、保護者や地域の方々の

学校の安全対策と分譲マンションの諸課題について



戸田 光昭 (公明党)

問 小・中学校の安全対策について、

答 協力を得て安全対策に取り組む。

問 防犯訓練や研修を充実させ、児童・生徒・保護者及び教職員の危機管理意識を向上させる防犯教育が必要であると考え、見解を伺う。

答 危機管理マニュアルに基づき、防犯訓練や教職員の研修を実施してきた。今後、家庭での危機管理意識向上のため、保護者が参加する訓練を実施するなど、学校・家庭が一体となった防犯教育を充実させていく。

問 「学校情報配信システム」が小学校4校で試行的に行われているが、大方好評である。新年度、早期に小・中学校全校実施に踏み切るべきと考え、見解を伺う。

答 すでに導入した学校以外の保護者からも、早期導入の声をいただいている。子ども達の安全を確保する体制を早く整備するため、導入時期を当初の予定より早めることを検討している。

問 分譲マンションの老朽化に伴う諸問題に対応するため、専門家に係るマンションセミナーの開催や、区独自のガイドブック発行等の支援策を充実させ、居住者による自主的な維持管理が適切に行えるようにすべきと考え、見解を伺う。

答 窓口相談やセミナーの開催により情報提供、意識啓発に努めてきた。今後は、より実践的なセミナーの開催や区独自のガイドブック発行などの情報提供を積極的に検討する。また、関係機関との連携を図り、管理組合の活動を支援していく。

問 都では老朽マンションの建替え促進支援のため、容積率の緩和などを行う「共同住宅建替え誘導型総合設計制度」を創設した。区も地域特性を踏まえた独自の施策を検討すべきと思うが、見解を伺う。

答 居住者の合意形成と建替え費用の問題の解決が最大の課題であり、費用軽減を図る規制緩和策の制度が必要である。建築基準法の総合設計制度を活用し、地域特性を踏まえた新たな制度の創設に取り組む。

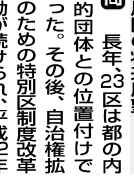
問 財政問題について

答 その他の質問項目

問 子育て支援について

答 その他の質問項目

区の将来展望と中小零細企業の振興について



小坂 眞三 (尚志会)

問 荒川区の将来展望

答 長年、23区は都の内部的団体としての位置付けであった。その後、自治権拡充のための特別区制度改革運動が続けられ、平成12年に基礎的自治体となった。今後の荒川区政の進むべき方向について区の見解を伺う。

問 荒川区には、長年培われてきた地域の結びつきや伝統文化に加え、国際交流の拠点として発展が見込まれる日暮里地区など、高い潜在能力がある。それらを最大限に引き出し、全国自治体のトップを目指し区政を推進していく。

問 各区分が特色のある施策を打ち出している中、ますます23区間に競争が生じ、各自自治体の知恵と創意が求められると思うがどうか。

答 1丁先進都市への取り組み、小学校英語教育の実施等、特色のある施策を積極的に展開している。今後も地域特性や区民の声を活かした施策を充実していく。

問 リサイクル関連事業者の集積を活かしたリサイクルの再構築はできないか。

答 平成18年度以降の清掃事業のあり方検討を契機として、区民、事業者、区がそれぞれの役割を果たすことができるような新たな清掃事業、リサイクルの仕組みづくりに努力する。

問 区内商業の活性化策として、商店街だけではなく、個店対策をすべきと考え、見解を伺う。

答 あらゆる媒体を活用し、魅力ある個店のPRをするとともに、意欲ある商店街を積極的に支援していく。

問 区内商業の活性化策として、商店街だけではなく、個店対策をすべきと考え、見解を伺う。

答 あらゆる媒体を活用し、魅力ある個店のPRをするとともに、意欲ある商店街を積極的に支援していく。

問 無防備な児童・生徒に対する身の安全をどのように守るか

答 その他の質問項目

問 地域経済活性化について

答 電子マネーの導入

により、従来に比べ区内企業との親密度が失われるのではないかと、区の認識と対応を伺う。

答 区内企業との緊密なコミュニケーションを維持し、より信頼できる金融機関としての役割を發揮していただく協力要請を行っている。

問 区内商業の活性化策として、商店街だけではなく、個店対策をすべきと考え、見解を伺う。

答 あらゆる媒体を活用し、魅力ある個店のPRをするとともに、意欲ある商店街を積極的に支援していく。

問 無防備な児童・生徒に対する身の安全をどのように守るか

答 その他の質問項目

問 地域経済活性化について

答 電子マネーの導入

区の来年度予算をくらし優先に組み替えることについて

答 電子マネーなどの突出した1丁事業を見直し、区民の暮らしに予算を振り向けるべきと思うがどうか。

問 公園清掃などシルバークンメンの仕事を増やし予算を増額すべきか

答 その他の質問項目

問 地域経済活性化について

答 電子マネーの導入

問 地域経済活性化について

答 電子マネーの導入



横山 幸次 (共産党)

などは区民生活の向上、地域活性化等の視点に立つ、時宜にかなった施策である。区は引き続き1丁施策を積極果敢に展開していく。

問 公園清掃などシルバークンメンの仕事を増やし予算を増額すべきか

答 その他の質問項目

問 思うがどうか。
答 シルバー人材センターでは、新たな雇用先確保に努めており、区もできる限りシルバー人材センターを活用するなど支援していく。

問 小学校の英語科、IT教育ネットワークなどの予算を見直し30人以下学級を実現すべきと思うがどうか。
答 英語教育や教育ネットワークの整備は今後の学校教育充実のために取り組みべき事業である。また、学級定数の引下げよりも、理解度に応じた少人数グループによる習熟度別学習の充実に努めていく。

問 地域経済活性化対策について

問 都立航空高専の人工衛星打ち上げに、区のモノづくりに関わる人々が連携するプロジェクトを立ち上げてはどうか。
答 区内企業のモノづくりの技術力向上や継承に繋がるものと期待され、区でも商工会議所等と協議し区内企業の参加や協力方法を検討していくこととしている。

問 4信金合併による地域経済や区内業者への影響はどうか。また従前どおり地域貢献が行われるよう申し入れるべきと思うがどうか。
答 合併で経営基盤が強化され、より安全で安心できる金融機関が誕生した。合併後も地域貢献が継続されるものとするが、地域経済活性化対策として

経済への動向を注視しながら信金と緊密なコミュニケーションを図っていく。

問 南千住W街区への商業施設進出旧太陽信金の人員削減や地域連携の弱まりなどによる南千住地域経済への影響とその対策を問う。
答 W街区は、地域経済活性化の核になるものとして期待している。また、4信金合併は地域経済へのセーフティネットを強化すると認識している。今後も地元商店街の顧客獲得策への意欲的な取り組みを支援する。

問 憲法と平和 地方自治を守るために

問 4信金合併による地域経済や区内業者への影響はどうか。また従前どおり地域貢献が行われるよう申し入れるべきと思うがどうか。
答 合併で経営基盤が強化され、より安全で安心できる金融機関が誕生した。合併後も地域貢献が継続されるものとするが、地域経済活性化対策として

教育について問う
問 昨年度行った、小中学校学力調査でも、小学校高学年から読書時間が大幅に減少し、中学校ではほとんど読書をしないうえに、読書習慣が弱くなった。そこで、①学校図書館の充実について、②同書（非補助）の計画的な配置について、③保護者及び地域との連携について、④学校及び区立図書館の格



浅川 喜文
（自民党）

問 差是正について見解を問う。
答 ①学校図書館は学校教育における読書活動の拠点として重要な役割を担っていることから、充実のための整備方針を示す。②学校図書館活性化計画の策定を予定している。③学校図書館活性化計画の中で具体的に検討していく。④地域の方々の対象にボランティア講習会を実施するほか、来年度には区立図書館が学校図書館ボランティアの養成を積極的に行っていく予定である。⑤今後、施設の老朽化の状況等を踏まえ、学校図書館の施設の改修や書架の更新を計画的に実施するよう検討していく。また、区立図書館においても、道路や建物の制約上、大規模改修は困難な状況であるが、必要な設備の更新を行い、観葉植物を置くなど、明るく楽しい雰囲気などを提供する機運を高めていくことが重要であり、国への要請については議会とも連携して取り組んでいく。

問 国が「犯罪被害者支援法」を制定するまでの間、荒川区民を守るため、仮称「荒川区犯罪被害者支援法」を早急に制定すべきと考えられるが見解を問う。

問 集団登校の全校実施について見解を問う。
答 地域の実態を踏まえ、学校や保護者との幅広い視点から議論を深めていく。

問 荒川区の教育をすすめるための基本理念となる「荒川区教育基本構想」を有識者を交えて検討し、制定すべきと考えられるが見解を問う。
答 荒川区の教育理念を明確に示しながら教育改革を推進していくことは極めて重要であり、策定に向けて具体的に検討していく。

問 犯罪被害者支援について
問 以前にも増して、凶悪事件や卑劣な犯罪が増大し、多くの犯罪被害者や被害者のいない、怒りや悲しみが溢れ込んでいる。そこで、荒川区として国に対し、欧米並みの犯罪被害者支援法の制定を、1日も早く実現することを求めるべきではないか。
答 被害者が正当な援助を受けられるような法的整備が必要である。そのためには、何よりも国民の関心を高め、社会全体で犯罪被害者を支援する機運を高めていくことが重要であり、国への要請については議会とも連携して取り組んでいく。

問 国が「犯罪被害者支援法」を制定するまでの間、荒川区民を守るため、仮称「荒川区犯罪被害者支援法」を早急に制定すべきと考えられるが見解を問う。

問 男女共同参画社会と放置自転車対策について
問 男女平等共同参画基本条例作成にあたっては、国際的な基本理念に基づいてはどうか。
答 区では、全国の模範となる条例制定のため、区民・学識経験者が参加する懇談会を設置した。

問 雇用における男女差別の解消などを基本条例に盛り込むべきと思うがどうか。
答 条例に盛り込むべきかどうかは、男女共同参画社会懇談会における検討の推移を見守りたい。

問 条例作成にあたっては、区民の声を十分に聞くこと。
答 懇談会は、17名の委員のうち、6名の学識経験者を増設し、案内の統一性を図るべきと考えられるがどうか。
答 人員費の増大等の問題点があり実現は困難である。

問 利用方法等の看板を増設し、案内の統一性を図るべきと考えられるがどうか。
答 詳細については現在作成中の会議録がございました。区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。また、荒川区ホームページの区議会情報ページ（http://www.city.ariake.lg.jp/kougikai/）で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせて「利用きたり」



安部 キヨ子
（共産党）

者のほかはすべて区内在住の方である。
問 放置自転車対策について
問 放置自転車対策の基本は駐輪場の確保と利用促進である。定期利用料の値下げを行うべき。
答 放置自転車対策には、区民のマナー向上が不可欠であり、今後とも利用者の理解を求めていく。

問 急ぐ方などのために地上自転車預かり駐輪場誘導方式を導入してはどうか。
答 人員費の増大等の問題点があり実現は困難である。

問 利用方法等の看板を増設し、案内の統一性を図るべきと考えられるがどうか。
答 詳細については現在作成中の会議録がございました。区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。また、荒川区ホームページの区議会情報ページ（http://www.city.ariake.lg.jp/kougikai/）で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせて「利用きたり」

答 看板の増設を含め、利用者によりやすい方法を検討する。
問 北区堀船新聞印刷工場建設について
問 子育て支援について

者のほかはすべて区内在住の方である。
問 放置自転車対策について
問 放置自転車対策の基本は駐輪場の確保と利用促進である。定期利用料の値下げを行うべき。
答 放置自転車対策には、区民のマナー向上が不可欠であり、今後とも利用者の理解を求めていく。

問 急ぐ方などのために地上自転車預かり駐輪場誘導方式を導入してはどうか。
答 人員費の増大等の問題点があり実現は困難である。

問 利用方法等の看板を増設し、案内の統一性を図るべきと考えられるがどうか。
答 詳細については現在作成中の会議録がございました。区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。また、荒川区ホームページの区議会情報ページ（http://www.city.ariake.lg.jp/kougikai/）で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせて「利用きたり」

男女共同参画社会と子育てひろばについて



瀬野 喜代
（新クラブ）

問 男女共同参画社会と子育てひろばについて
問 男女共同参画社会基本条例作成にあたっては、懇談会を立ち上げ、女性の政治参加を促す必要はないか。また、女らしさの強制は、男共共同参画社会基本法に

問 荒川区での政策決定への女性の参画状況はどうか。
答 審議会等の委員は、性別に関わらず経験や専門的知識能力に基づいて登用が図られるべきである。複数の適任者がいる場合は女性の参画機会に配慮する。

問 子育てひろばについて
問 核家族の孤立した子育てへの支援が必要である。保育園ひろば館等での子育て支援情報の提供が不十分であると思うがどうか。
答 4月開設の子ども家庭支援センターで、支援活動情報等を網羅したP

R紙の発行やインターネットによる情報発信を行っていく。
問 児童虐待が顕在化する中、子育て支援に関わるスタッフ間の連携と意識啓発をどのように行うのか。
答 子ども家庭支援センターでの各関係機関が参加する児童虐待防止ネットワークの運営等の活動を通じてスタッフのスキルアップと連携を図っていく。

問 乳幼児の親子連れが気軽に集える子育てひろばを拡大すべきではないか。
答 子ども家庭支援センターを中心に多様な施設や特色を生かして活動し、利用者の多様なニーズに応えることが効果的と考えられる。

その他の質問項目
問 リサイクル推進と環境学習について

その他の質問項目
問 リサイクル推進と環境学習について

その他の質問項目
問 リサイクル推進と環境学習について

その他の質問項目
問 リサイクル推進と環境学習について

その他の質問項目
問 リサイクル推進と環境学習について

第1回 定例会日程

2月19日	本会議
2月20日	本会議
2月23日	総務区民委員会
2月24日	文教委員会
2月27日・3月1・2・4・5日	建設環境委員会
	特別委員会
3月8日	保健福祉委員会
3月9・10・11日	建設環境委員会
	特別委員会
3月17日	本会議

詳細については現在作成中の会議録がございました。区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。また、荒川区ホームページの区議会情報ページ（http://www.city.ariake.lg.jp/kougikai/）で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせて「利用きたり」

平成16年度予算を可決

平成16年度一般会計ほか3特別会計予算については、「予算に関する特別委員会」（議長を除く全議員で構成・委員長＝並木一元、副委員長＝守屋 誠）を設置し、2月27日から3月11日まで審査を行い、いずれも可決されました。



主な総括質疑

- 自民党**
 - 若林 清子 委員
 - 藤澤区政の評価と今後の見通しについて
 - 南千住のまちづくりについて
 - 食育について
 - 在宅介護支援について
- 公明党**
 - 武藤 文平 委員
 - 介護予防・要介護認定の重度化予防について
 - がん、生活習慣病の予防策について
- 共産党**
 - 相馬 堅一 委員
 - 年金改悪の影響について
 - シルバー人材センターの予算回復について

主な総括質疑

- 新星クラブ**
 - 片山 浩 委員
 - ドメスティックバイオレンス対策について
- 元氣クラブ**
 - 斉藤 裕子 委員
 - 消費税改正が区内事業者に及ぼす影響について
 - 総括質疑の模様をご覧になりたい方はビデオテープを広報課及び区立図書館で貸し出ししますのでご利用ください。

予算の審査経過

- 2月27日(金)
 - 平成15年度一般会計補正予算(第3回)、国民健康保険事業特別会計補正予算(第1回) 介護保険事業特別会計補正予算(第1回) 審査
 - 予算大綱説明(助役)
 - 総括質疑(6会派)
 - ※主な質問項目は別掲
- 3月1日(月)
 - 一般会計歳出審査(議会費・総務費)
- 3月2日(火)
 - 一般会計歳出審査(総務費・民生費・衛生費)
- 3月4日(木)
 - 一般会計歳出審査(衛生費・環境清掃費・産業経済費)
- 3月5日(金)
 - 一般会計歳出審査(産業経済費)
- 3月9日(火)
 - 一般会計歳出審査(土木費・教育費)
- 3月10日(水)
 - 一般会計歳出審査(教育費・公債費・諸支出金・予備費)
- 3月11日(木)
 - 一般会計歳入審査(一括審査)
 - 縮めくり総括質疑(6会派)
 - ※主な質問項目は別掲
 - 修正案(共産党提出) 採決の結果 否決
 - 原案 採決の結果 可決
 - 国民健康保険事業・老人保健医療特別会計予算 採決の結果 可決
 - 介護保険事業特別会計予算 採決の結果 可決

主な縮めくり総括質疑

- 自民党**
 - 茂木 弘 委員
 - 男女共同参画社会について
 - ホームレス問題とアールメントの改善策について
 - 日暮里駅の整備計画について
 - 防犯パトロール隊について
 - 豊かな心について
- 公明党**
 - 吉田 詠子 委員
 - 男女共同参画社会について
- 共産党**
 - 斉藤 邦子 委員
 - 勤労世帯の収入減・負担増とくらし支援の予算について
 - 三位一体改革の地方への影響について
 - 有事法制について
 - 新星クラブ
 - 瀬野 喜代 委員
 - 荒川区の人権推進について
 - 元氣クラブ
 - 斉藤 裕子 委員
 - 指定管理者制度について

平成16年 区長の施政方針説明 (一部抜粋・要旨)

平成16年第1回定例会の開会にあたり、私の区政運営に関する所信の一端を申し上げます。

現在、日本経済は不況と言われながらも、街には物があふれ、国民の生活水準は戦後の貧しい時代とは比較にならない状況にあります。しかし、そうした豊かさとは裏腹に、子どもの虐待や人の道を踏み外した犯罪が多発するなど、長く受け継がれてきた日本の文化や美德、日本人の心をどこかへ忘れてきてしまったのかと憂慮しています。グローバル化が進み、様々な価値観が交錯する国際社会であるからこそ、日本人としての心、自覚を持つことが不可欠であります。心の豊かさを取り戻すことは、あらゆる分野の基本となるものと考えます。

私は就任以来、行政サービスの充実に加え、豊かな心を育む荒川3つの行動プラン、地域防犯、集団回取等の新たな施策を提唱してまいりました。いずれも、区民一人ひとりが地域社会の構成員としての責任と自覚をもち、必要な役割を果たしていくような

心を含む荒川3つの行動プラン、地域防犯、集団回取等の新たな施策を提唱してまいりました。いずれも、区民一人ひとりが地域社会の構成員としての責任と自覚をもち、必要な役割を果たしていくような

良き伝統・文化の再生に取り組むことはきわめて意義のあることと考えます。このような考え方に立って、新たな施策に積極的に取り組んでまいりました。平成16年度予算は、「財政構造改革を全庁一丸となして推進することともに、区政の直面する

のため、区民サービスの向上をはかりつつ、巨額の財源不足の解消に向け、徹底した行政改革に取り組んでまいりました。平成16年度予算は、「財政構造改革を全庁一丸となして推進することともに、区政の直面する

まちを目指すものです。荒川区では、お互いが助け合い、支え合うような温かい地域社会がしっかりと根付いております。そうした土壌をもつ荒川区が他の自治体の先頭に立つて、わが国に受け継がれてきた

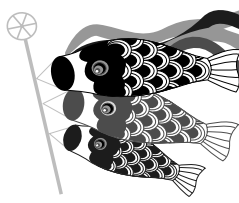
課題に積極果敢に挑戦する予算との位置付けのもとに編成し、一般会計規模は、4年ぶりに前年を上回っております。人件費や不要不急の事業に鋭いメスを入れる一方、七つの安心社会推進計画事業には重点

ととります。困難をチャンスと受け止め、直面する課題に果敢に挑戦してまいります。

さて、本区の実質的な財政赤字は9年連続となっており、きわめて厳しい財政状況が続いております。こ

的に財源を配分し、これまでも増えつメリハリの効いた予算となっております。「七つの安心社会」の各分野で着実に事業を具体化し、推進しているところではあります。特に全庁的・横断的な取組みが求められている事業につきましては、「五つの挑戦」として掲げ、積極的に推進しております。

以上、私の施政方針の一端を申し上げてまいりました。細やかな心配りが、そこかしこで当たり前に行われるような温かい地域社会、区民の誰もが荒川区に住んでよかったと思えるようなまちをめざし、スピードと成果を重視した区政をさらに力強く展開してまいります。今後の区政運営にあたり、あらためて区民並びに区議会の皆様方のご理解と協力を心からお願いする次第であります。



3月2日(火)

- 一般会計歳出審査(総務費・民生費・衛生費)

3月4日(木)

- 一般会計歳出審査(衛生費・環境清掃費・産業経済費)

3月5日(金)

- 一般会計歳出審査(産業経済費)

3月9日(火)

- 一般会計歳出審査(土木費・教育費)

3月10日(水)

- 一般会計歳出審査(教育費・公債費・諸支出金・予備費)

3月11日(木)

- 一般会計歳入審査(一括審査)
- 縮めくり総括質疑(6会派)
- ※主な質問項目は別掲
- 修正案(共産党提出) 採決の結果 否決
- 原案 採決の結果 可決
- 国民健康保険事業・老人保健医療特別会計予算 採決の結果 可決
- 介護保険事業特別会計予算 採決の結果 可決

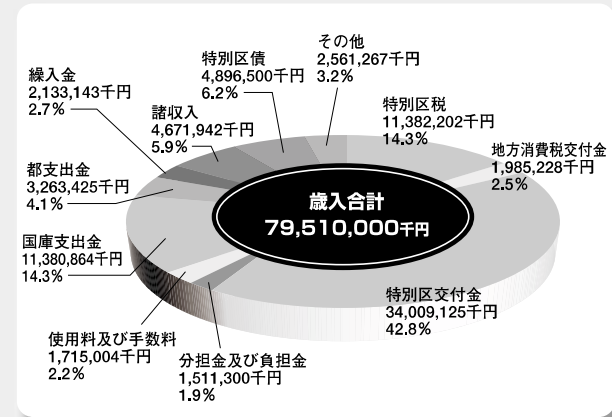
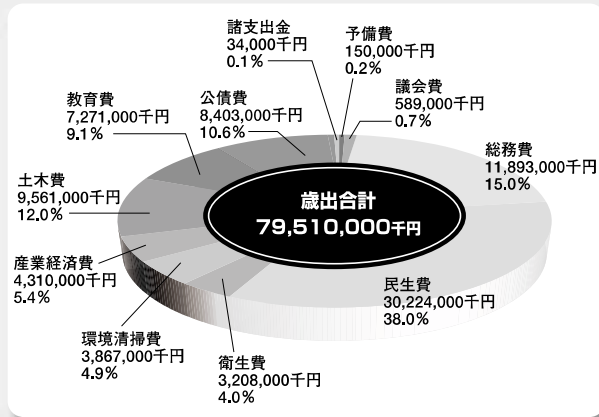
各会計の概要

(単位：千円)

	平成16年度 予算額	平成15年度 予算額	増減	増減率(%)
一 般 会 計	79,510,000	72,380,000	7,130,000	9.9
特別会計				
国民健康保険事業	21,312,000	20,519,000	793,000	3.9
老人保健医療	16,796,000	17,634,000	△838,000	△4.8
介護保険事業	9,930,000	8,661,000	1,269,000	14.7
計	127,548,000	119,194,000	8,354,000	7.0



一般会計構成比



平成16年度一般会計予算、原案に賛成の立場で討論を行う。日本の経済は、消費財物価の下落圧力が弱まってきたとの見方がされているが、デフレ傾向は解消されず、荒川区の財政運営にも大きな影響を及ぼしている。

わが区議団は、平成16年度予算編成にあたり、新しい時代にふさわしい荒川区づくりを目指し、喫緊に取り組むべき課題として、6つの重点施策と2つの推進施策の実現を強く求めてきた。区は、直面する重要課題や区民生活の確実に対応した施策への特化、重点化を図りつつ、職員定数削減や、事務事業全般にわたる見直しを行ない、予算規模では、前年度比、9.9%の増と、4年ぶりに前年度を上回る予算を編成し、新規事業やヘルニアアップ事業が随所に組み込まれており、区長並びに区当局の努力を評価する。

具体的要請策として、第一に「地域が丸と丸となって取り組む地域防犯対策の推進」は、地域住民と警察・行政等の関係機関が協働することによって防犯力の高いまちづくりが実現されると考える。

第二の「地域の特性を活かした拠点づくりの推進」は、核となる町会、自治会、助成団体等が自主的かつ積極的に活動することで地域が活性化し、特色あるまちづくりが展開されるものと考える。一方、都市基盤整備については、三河島地区でも再開発準備組合の設立が予定されているなど、まちづくりに区の積極果敢な取組を期待する。

第三の「ITの活用や観光資源の開発などを通じた産業活力の創造」は、ITを活用した「観光情報データベース」の作成により、区のPRと地域の魅力向上が積極的に推進されることを期待する。

賛成

区の努力を評価、未来を展望した新しい発想で「荒川区の元気」の定着を
自民党

各党派討論のあらまし

平成16年度予算をこう評価する

3月17日の本会議において、平成16年度一般会計予算について各党派から討論が行われました。ここではその要旨をお知らせします。

賛成

行政改革の着実な推進を評価、さらに区民の重点課題検討を望む
公明党

平成16年度予算編成にあたり、口頭の区民相談で受けた要望や区民生活に関する独自調査を踏まえ、179項目の要望書と10項目の重点項目を提出した。これを受け区は厳しい財政状況の中、新たな行政改革を着実に進め、予算編成をしたことを評価する。

教育改革では、子供の読書運動の推進や学校図書書の充実を図る等、積極的な姿勢を評価する。今後、小中学校英語教育における、ALIT(外国語指導助手)の加配と二期制導入等の取り組みを要望する。

福祉施策では、痴呆性高齢者グループホーム整備補助事業や福祉サービス第三者評価事業の実施等について評価する。今後、介護保険制度の諸課題、区内医療機関への女性専用外来制度の導入等、積極的な取り組みを要望する。少子化対策では、認証保

育所の開設に対する一部助成や子ども家庭支援センターの開設等、子育て施策のさらなる充実を期待する。

雇用対策では、雇用創出特区等の取り組みを要望する。

防犯対策については、防犯灯の増設、照度改善、区民防犯パトロール等、犯罪抑止の取り組みを評価する。今後、小中学校における安全対策についても要望する。

その他の分野でも、概ね我が党の主張、提案が予算化されており、高く評価する。今後、パワハラハビリの導入、保健所とがん予防センターの統合、役所におけるIP電話の活用、防犯カメラの設置、スパイ防犯灯の設置、男女雇用均等を踏まえた条例の制定、女性のキャリア形成支援策の取り組み等、区民の重要課題を検討することを要望して賛成討論とする。

賛成

積極的な施策展開を評価、さらに効率的・効果的な予算執行を

尚志会

昨年10月から12月期のGDPの改定値は、物価変動の影響を除いた実質で年率変換率6.4%増、四半期ベースで4期連続のプラス成長となり、景気改善に向けた動きが見られる。しかし、大企業の収益改善が比較的順調に推移する一方で、中小企業は依然厳しい状態が続いており、二極化の様相を呈している。また、デフレ圧力が続いているほか、雇用情勢にも明るさは見えていない。このような中、税収の伸び悩み等により荒川区も引き続き厳

しい財政運営を余儀なくされている。区は、行政改革を着実に推進し、職員定数の削減や新たな財源確保の努力により、現時点での財政不足の見込み額は平成17年度に約8億円まで圧縮されたことである。これまでの努力は大いに認めるところではあるが、厳しい状況であることには変わりはない。財政健全化に向け、一層の努力をすべきである。

本定例会に提案された、平成16年度一般会計予算

反対

ITより区民生活に、予算の優先順位の見直しを求める

共産党

実験的なIT予算などにより区民生活に心を寄せて、子育て世代や高齢者の負担軽減や元気で就労を希望するシルバー人材センター予算など修正を具体的に提案した。締め括り総括質疑では、区は福祉予算など暮らしを温める提案を「非生産的」とまで発言したことは、自治体の住民の安全と福祉を守るべき「本旨」にもとる予算編成の姿勢として看過できない。藤澤区政の重点施策に対する基本的

賛成

事業評価を活かし効率的な予算執行を求める

新星クラブ

は、4年ぶりに前年度を上回り、9.9%増となっている。しかし、増加の要因は減税補てん債の一括借り換えによる公債費の増をよ

区長の施政方針説明での「真の豊かさを希求し、心の豊かさを取り戻さなければならぬ」との意見には全く同感する。その中で男女共同参画社会の形成にあたっては男女が互いの立場を尊重し、真に男女平等が実現するよう願っている。また、福祉施策では、区の無償貸与施設を含めた事業評価システムの構築が必要である。コミュニティパスの導入では、区民からの意見聴取の不足やフリーサイクル事業等における利用

率のな行政運営を図りつつ、積極的な施策の展開を図ったことは評価する。我が会派が指摘した事項について十分留意のうえ、これまで以上に効率的・効果的に予算を執行することを要望し、本予算に賛成する。

者の意見の反映、行政参画を進めるために、区民運営型への移行など、全ての事業において、区民サービス充実、利便性向上の検討に努めなければならない。平成16年度も区にとつて、財政再建や区民サービスの充実など厳しい区政運営が求められているが、議会の責任も重大であると認識している。これまでの事業評価を活かした効率的な予算執行を要望し、本予算案に賛成する。

反対

地域経済を活性化して区民が豊かになり、区財政も潤う戦略的な予算を。元氣クラブ

元氣クラブ

である。電子マネー・テレビ電話相談サービスはムダの実例の一つになりかねない。教育ネットワークシステム構築は個人情報保護の負担が大きくなる。IT関連予算が膨らみすぎ、予算の優先順位を問いたい。第二に政府の三位一体改革などで住民生活を支える自治体の基本サービスが維持できなくなろうとしている。自治体の変質・解体の歩みこそ止めなければならない。第三に男女共同参画社会に係る議論は、なにより憲法擁護と語法規則に立って運営すべき自治体の本旨を見据えて対応することを目指す。

新年度予算は政府の経済金融政策に苦しむ区民生活に展望を示せていない。困難な時こそ藤澤区政は将来展望を明確にすべきだ。「区民の安全・安心の確保」というなら、産業と雇用の安全・安心を柱にすべきだが、見るべき政策はない。議会も含め、もっと研究が必要だ。「目玉事業探し」とマスコミ受けに終始し、上滑りになっていないか。事業の優先順位にも問題がある。特別養護老人ホームの無

償貸与や指定管理者制度にも問題がある。「区民サービス評価システム」の策定を急いで欲しい。拡大する部落差別はがきへの対処、区民税や国保料滞納と区民の苦境への配慮、均等待遇を中心にした男女共同参画推進を要望する。

「目玉事業探し」とマスコミ受けに終始し、上滑りになっていないか。事業の優先順位にも問題がある。特別養護老人ホームの無



委員会活動 平成15年第3回定例会終了後から平成16年第1回定例会最終日までの間の各委員会の活動状況をお知らせします。 10月22日~3月17日

常任委員会 議事運営委員会 11月11日 第4回定例会の運営に関する事項について 11月26日 第4回定例会の運営に関する事項について 2月3日 第1回定例会の運営に関する事項について 2月17日 第1回定例会の運営に関する事項について 3月15日 陳情の受理について 3月15日 第1回定例会最終日の議事日程等について 12月4日 第4回定例会最終日の議事日程等について 10月22日 行政視察を実施(滋賀県 大津市・奈良県奈良市) 10月30日 (所管調査事項) 荒川区観光振興ビジョンについて 11月12日 (所管調査事項) 危機管理対策に関する当面の取組みについて 荒川区男女共同参画社会懇談会の設置について 12月1日 (議案審査) 荒川区組織条例の一部を改正する条例 選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 荒川区長等の給料等に関する条例の一部を改正する 12月11日 (所管調査事項) 総合スポーツセンター駐車場の有料化について ほか

〔陳情審査〕
・15年第25号陳情
(取り下げ)

文教委員会

1月13日
〔陳情審査〕
・15年第14号陳情・15年第28号陳情・15年第29号陳情
いずれも採決の結果不採択
〔所管調査事項〕
・平成16年度の「川の手荒川まつり」の実施場所について
1月21日
・公的個人認証サービスの実施について
2月5日
〔所管調査事項〕
・防犯都市宣言について
ほか

11月23日
〔所管調査事項〕
・瑞光小学校の事故に係る損害賠償請求訴訟について
10月23日
〔陳情審査〕
・15年第21号陳情
採決の結果 不採択
〔所管調査事項〕
・区外所管施設調査の集約について
11月11日
〔所管調査事項〕
・学校情報配信システム)の試行について
ほか

11月12号14日
・行政視察を実施(鹿児島県鹿児島市・宮崎県宮崎市)
12月2日
〔議案審査〕
・幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
原案どおり決定
12月18日
・行政視察を実施(浦安市立図書館)
1月21日
〔所管調査事項〕
・学力向上のための調査の実施について
ほか

〔陳情審査〕
・15年第30号陳情
採決の結果 不採択
2月5日
・平成16年度荒川区一般会計予算
ほか
〔所管調査事項〕
・生涯学習センターの運営業務委託について
2月23日
〔議案審査〕
・幼稚園教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例の一部を改正する条例
原案どおり決定
12月19日
〔陳情審査〕
・15年第20号陳情 継続
1月22日
〔所管調査事項〕
・宿泊所の住宅扶助費の認定基準策定について
行政視察を実施(グループホーム「福さん家」)
2月6日
・平成16年度一般会計予算案について
〔所管調査事項〕
・特別養護老人ホーム等の貸付先の決定について
ほか

保健福祉委員会

11月13日
〔所管調査事項〕
・二次世代育成支援対策法)に基づく行動計画の策定について
ほか
12月2日
〔議案審査〕
・荒川区児童福祉施設条例の一部を改正する条例
児童福祉施設の指定管理者の指定について
荒川区立特別養護老人ホーム条例の一部を改正する条例
原案どおり決定
荒川区老人福祉施設条例の一部を改正する条例
〔議案審査〕
2月24日
〔陳情審査〕
・荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例
採決の結果原案どおり決定
〔所管調査事項〕
・ホームレス地域生活移行支援事業について
ほか

12月19日
〔陳情審査〕
・15年第26号陳情 継続
2月6日
〔陳情審査〕
・15年第26号陳情 継続
1月11日
〔所管調査事項〕
・危険管理対策に関する当面の取組みについて
ほか
1月27号28日
・行政視察を実施(兵庫県神戸市)
1月30日
・人事異動について
〔調査研究事項〕
・防犯都市宣言について
ほか

11月11日
〔所管調査事項〕
・日暮里駅周辺地区街並み再生方針策定調査について
ほか
11月12号14日
・行政視察を実施(山口県下関市・兵庫県西宮市)
12月2日
〔議案審査〕
・特別区道荒122号線の路線の廃止について
特別区道荒300号線の路線の認定について
特別区道荒301号線の路線の認定について
白鬚西地区第二種市街地再開発事業の進捗よくに伴う特別区道の路線の認定について
荒川区自転車等駐車場条例の一部を改正する条例
荒川区立公園条例の一部を改正する条例



建設環境委員会

11月11日
〔所管調査事項〕
・危険管理対策に関する当面の取組みについて
ほか
1月27号28日
・行政視察を実施(兵庫県神戸市)
1月30日
・人事異動について
〔調査研究事項〕
・防犯都市宣言について
ほか

11月13日
〔所管調査事項〕
・二次世代育成支援対策法)に基づく行動計画の策定について
ほか
12月2日
〔議案審査〕
・荒川区児童福祉施設条例の一部を改正する条例
児童福祉施設の指定管理者の指定について
荒川区立特別養護老人ホーム条例の一部を改正する条例
原案どおり決定
荒川区老人福祉施設条例の一部を改正する条例
〔議案審査〕
2月24日
〔陳情審査〕
・荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例
採決の結果原案どおり決定
〔所管調査事項〕
・ホームレス地域生活移行支援事業について
ほか

11月11日
〔所管調査事項〕
・危険管理対策に関する当面の取組みについて
ほか
1月27号28日
・行政視察を実施(兵庫県神戸市)
1月30日
・人事異動について
〔調査研究事項〕
・防犯都市宣言について
ほか

特別委員会

震災対策。危機管理調査特別委員会

11月18日
〔調査研究事項〕
・危険管理対策に関する当面の取組みについて
ほか
1月27号28日
・行政視察を実施(兵庫県神戸市)
1月30日
・人事異動について
〔調査研究事項〕
・防犯都市宣言について
ほか

交通体系。拠点開発調査特別委員会

11月10日
行政視察を実施(つくばエクスプレス南千住駅、日暮里・舎人線沿線)
11月17日
〔調査研究事項〕
・特別区道荒60号線(中道区道)の復旧について
日暮里・舎人線建設促進協議会総会及び研修会に参加
12月15号16日
行政視察を実施(沖縄県那覇市)

公有財産調査特別委員会

11月17日
〔調査研究事項〕
・高齢者福祉施設の普通財産への変更及び無償貸付について
行政視察を実施(旧やまぶき寮)
1月27日
行政視察を実施(旧職員寮の貸付)に関する企画提案の応募状況について
1月29号30日
行政視察を実施(兵庫県神戸市)
2月12日
〔調査研究事項〕
・特別養護老人ホーム等の貸付先の決定について
ほか

子育て環境整備調査特別委員会

10月27日
〔調査研究事項〕
・荒川区における乳幼児の



決議

日本の代表としてイラク復興支援に協力する自衛隊の派遣を支持し、全隊員の無事帰国を願う決議

サダム・フセインの独裁体制が終焉したイラクは、今、平和で秩序ある国際社会の一員になるための復興途上にある。

現在、混乱と不安定にあるイラクが、安定した民主的な国家として構築され、平和な国家として生まれ変わることは、国際社会にとっても、わが国にとっても、きわめて重要であることから、日本政府は国会の圧倒的多数の支持により、イラク復興のための一助として、人道支援のための自衛隊派遣を決定し、現在、空・陸・海の三百衛隊がイラクに派遣されている。

このことは、わが国が真に責任ある国際社会の一員としての決定として高く評価できることであり、荒川区議会として支持を表明するものである。また、人道支援のために活動する自衛隊員の努力に感謝し、全隊員が無事に帰国することを切望するものである。ここに決議する。

意見書提出

本定例会では、5件可決し関係機関に提出しました。

〔仮称〕青少年健全育成基本法の制定を求める意見書
(衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣、文部科学大臣あて)

容器包装リサイクルの促進に関する意見書
(衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣、厚生労働大臣 経済産業大臣、環境大臣あて)

犯罪被害者救済制度の充実に関する意見書
(内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国家公安委員長あて)

北朝鮮による拉致問題等の徹底解明を求める意見書
(衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、外務大臣、国家公安委員長あて)

マンション対策の充実強化を求める意見書
(衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣、国土交通大臣、東京都知事あて)

趣旨採択
●白嶺西部地区再開発事業地区内に総合病院の設置を求める陳情
●「容器包装リサイクル法の見直しを求める意見書」を国会及び関係行政に提出することを求める陳情

採択した 請願・陳情

趣旨採択
●白嶺西部地区再開発事業地区内に総合病院の設置を求める陳情
●「容器包装リサイクル法の見直しを求める意見書」を国会及び関係行政に提出することを求める陳情

議案の審議結果 平成16年第1回定例会

○賛成 ×反対 一退席 太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は、会派人員)					結果
	自民党	公明党	尚志会	共産党	新産党	
議員提出議案(6件)						
第1号	日本の代表としてイラク復興支援に協力する自衛隊の派遣を支持し、全隊員の無事帰国を願う決議について	○	○	○	×	可決
第2号	〔仮称〕青少年健全育成基本法の制定を求める意見書提出について	○	○	○	×	可決
第3号	容器包装リサイクルの促進に関する意見書提出について	○	○	○	○	可決
第4号	犯罪被害者救済制度の充実に関する意見書提出について	○	○	○	○	可決
第5号	北朝鮮による拉致問題等の徹底解明を求める意見書提出について	○	○	○	一	可決
第6号	マンション対策の充実強化を求める意見書提出について	○	○	○	○	可決
区長提出議案(27件)						
第1号	公益法人等への荒川区職員の派遣等に関する条例	○	○	○	×	可決
第2号	荒川区特別工業地区建築条例	○	○	○	○	可決
第3号	荒川区情報公開条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
第4号	荒川区個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
第5号	荒川区外部監査契約に基づく監査に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
第6号	荒川区組織条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
第7号	荒川区職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	可決
第8号	職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
第9号	荒川区手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
第10号	幼稚園教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
第11号	荒川区立特別養護老人ホーム条例を廃止する条例	○	○	○	×	可決
第12号	荒川区立在宅高齢者通所サービスセンター条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	可決
第13号	荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	可決
第14号	荒川区道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
第15号	荒川区立公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
第16号	荒川区立荒川自然公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
第17号	荒川区児童遊園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
第18号	荒川区公衆便所に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
第19号	平成15年度荒川区一般会計補正予算(第3回)	○	○	○	○	可決
第20号	平成15年度荒川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	可決
第21号	平成15年度荒川区介護保険事業特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	可決
第22号	平成16年度荒川区一般会計予算	○	○	○	×	可決
第23号	平成16年度荒川区国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	×	可決
第24号	平成16年度荒川区老人保健医療特別会計予算	○	○	○	×	可決
第25号	平成16年度荒川区介護保険事業特別会計予算	○	○	○	×	可決
第26号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(上原 章氏)	○	○	○	○	可決
第27号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(新井浩子氏)	○	○	○	○	可決

荒川村との交流事業を実施



3月22、23日、荒川区議会は、荒川区と姉妹提携をしている埼玉県荒川村との親交を深めるため、交流事業を実施しました。

交流事業には、議長をはじめ15名の議員が参加し、荒川村役場と荒川村議会を表彰訪問した後、村内公共施設の視察を行いました。

会派の異動について

平成16年3月19日付けで、鳥飼秀夫議員が高志会から自由民主党荒川区議会議員団に会派を異動しました。